

内部地区自主防ニュース

2016.2.22 発行

内部地区
自主防災協議会

内部中、内部小に防災井戸整備される

2月17日、内部中学校、内部小学校に防災井戸が完成、市・危機管理室から両校に引き渡されました。危機管理室では、平成24年度から緊急時の生活用水用として、沿岸部の指定避難所から順次、防災井戸を設置してきており、今までに25カ所設置されています。

平成27年度にはその整備計画の一環として内部中学校、内部小学校を含む6カ所に新たに設置されたものです。この井戸は手動式ですが、操作は簡単で緊急時の生活用水の確保が期待されます。なお、これは生活用水であり、飲料水は各家庭で常備されるようお願いいたします。

飲料水の備蓄量の目安は、一人一日当たり3リットル×7日分とされています。



内部中の井戸（校舎昇降口西側）



内部小の井戸（職員室前）。子どもたちが花壇の水やりに早速活用しています。

内部地区防災フォーラム開催

3月19日（土）10時～12時、内部地区市民センター別館2階で「女性の視点からみる減災」というテーマで講演とパネルディスカッションが行われます。

講演では、三重大医学部看護学科磯和勅子教授（老年看護学が専門。県の避難所運営マニュアル策定指針の改定委員としても参画）による「大規模災害時における避難所運営について」と題する講演と、引き続き、自主防会長／内部地区避難所運営に関与されている女性リーダーも交えたパネルディスカッションが行われます。

被災時には生活の拠点となる大切な避難所…日頃からの心構えと準備が大事です。多くの皆さんの聴講をお願いいたします。

